

講義名称	卒業研究Ⅱ	担当教員名	高山 有紀
科目群	必修 (REQ)		
科目区分等	卒業研究 CA4 DI2	単 位	2
対象学年次	2年・秋学期	ナンバリング	REQ212

授業のキーワード	日本文化史、地域文化史、学校文化
授業の概要	日本文化、地域文化、学校文化に関するテーマを選びます。次にそれがなぜ重要なのか（あるいは興味深いのか）、歴史的な視点で考察します。今後どうあるべきか、について考えられるとさらによいでしょう。
期待される学習成果（目標）	1、日本文化、地域文化等に関わる問題を通して、日本社会の変遷について学ぶことが出来ます。 2、身近な文化と自分との関係性を知ること、卒業後の進路で必要とされる基礎学力を身につけることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方について説明します。
2	報告	夏休み中の作業をふまえ、ゼミ論文の進捗状況を報告します。
3	報告	夏休み中の作業をふまえ、ゼミ論文の進捗状況を報告します。
4	報告	夏休み中の作業をふまえ、ゼミ論文の進捗状況を報告します。
5	ゼミ論文の書き方について	ゼミ論文の執筆にむけて、担当者が模擬報告を行います。
6	報告	ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。
7	報告	ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。
8	報告	ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。
9	報告	ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。
10	報告	ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。
11	報告	ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。
12	個別指導	ゼミ論文の完成に向けて個別指導を行います。
13	個別指導	ゼミ論文の完成に向けて個別指導を行います。
14	個別指導	ゼミ論文の完成に向けて個別指導を行います。
15	まとめ	ゼミ論文を仕上げ、報告をします。

定期試験	ゼミ論文の提出をもって試験とします。
授業時間外学習	第1～5講は、ゼミ論文構想発表の準備をします（60分）。第6～10講では、ゼミ論文を執筆します（60分）。第11～15講では、ゼミ論文を仕上げます（60分）。
評価方法	授業への取り組み（30パーセント）、課題に対する評価（70パーセント）により総合的に評価します。
使用する教科書（必ず購入してください）	
参考文献	歴史学研究会編『歴史を社会に活かすー楽しむ・学ぶ・伝える・観るー』東京大学出版会 海後宗臣・仲新・寺崎昌男編『教科書でみる近現代日本の教育』東京書籍